

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	北アルプス登山バス事業
事業主体 (連絡先)	木崎まちづくりラボ 090-4302-5084
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,140,600 円 (うち支援金: 1,983,000 円)

事業内容

- 【時期】北アルプスの繁忙期である7月～10月
- 【場所】ゆ～ぷる木崎湖の空地と駐車場から各登山口
- 【規模】登山者の需要や駐車場問題の改善状況を把握するため、祝日と平日を含めた連続した10日前後を毎月
- 【方法】市内バス事業者に委託
早朝と夕方の1便ずつを事前予約制で運行
- 【周知方法】
 - ・HP作成や予約システムの構築、SNS開始
 - ・ヤマケイやピークス等、登山に特化したメディアへ記事の投稿
 - ・その他各種メディアへのPR

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・利用人数 32人
- ・取り上げられた媒体多数
(ウェブ・雑誌・新聞)
- ・ツイッターでのフォロワー2000弱
- ・登山バスがあったことで登山を計画することができた登山者多数 32人

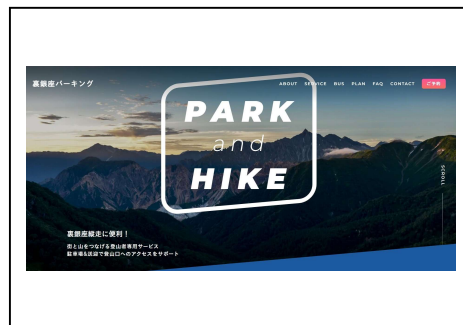
大町市と大町の登山を取り巻く様々なことを広く全国的にPRすることに成功した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も登山バスは続けていきたい。
 補助金がなくても持続可能な状態までもっていくことを目指す。
 並行して、ほかのアウトドア資源にも光を当て、PRしていきたい。
 大町市の豊富なアウトドア資源を目的に来る観光客の増加を目指し、そこから街中への導線づくりも進めていき、商店街の賑わいを取り戻すことを目指す。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【

【目標・ねらい】

- ① 大町市に注目してもらう
- ② 大町の山の良さをPRする
- ③ 縦走する登山者のサポート
- ④ 大町が目的の観光客を増やす

※自己評価【C】

【理由】
 PRに関しては予定していた以上の効果があった。
 バス事業としては赤字になり、改善する必要がある。